横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.500 2019

YMCA News 12

2019年12月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721
横浜青年

▲クリスマスを共に祝う横浜YMCA保育園の子どもたち

クリスマスメッセージ
闇の中に輝く光

日本キリスト教会
横浜海岸教会
牧師　上山修平

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。」（マタイによる福音書1章23節）

クリスマスはイエス・キリストがこの世にお生まれになったことを喜び祝う時です。しかし、今年はとりわけ世界中で自国中心主義が拡大する中で、相手を思いやる余裕を失い、人間の生命と尊厳を奪う出来事が頻発した年であったように思います。そんな状態にある時に、どうしてクリスマスだからと言って喜び祝えようか、そう思う人もあるでしょう。しかし、だからこそ、私たちはこのクリスマスの出来事に目を向け、その恵みの本当の意味をとらえ、喜び祝い、真の希望に目を向けて取り組んで聞く時なのだと思います。

◇

1944年のクリスマスに、当時ナチスに捕らえられていたドイツ人神学者ボンヘッファーは婚約者に詩を書いて送りました。その4カ月後、ヒットラーが自殺して戦争が終わる3週間前にボンヘッファーは銃殺されました。私たちは今その詩を讃美歌21の469番で読むことができます。

「輝かせよ、主のともし火、我らの闇の中に。
望みを主の手にゆだね、来るべき朝を待とう」（4番）

ボンヘッファーは処刑場に連れて行かれる時、「これが最後です。しかし、私にとっては生命の始まりです」と言い残して行ったそうです。その時に彼はさらに、「私は、あらゆる国家的な利害を超越する私たちの全世界的なキリスト者の交わりを信じています。そして私たちの勝利は確実です」とイギリスの聖職者に伝えるように頼んだのです。（『ボンヘッファー伝4』ベートゲ著P・501）。ここに、この世的には苦難の中に置かれている中にあっても、クリスマスの本当の意味を思いながら喜んで迎えた人の姿を見ることができると思います。クリスマスは神の子がこの世界に来られたことを喜ぶとともに、それは私たちの罪を赦すための死に向かう始まりの出来事であり、またその後に復活が待っている出来事であったことをボンヘッファーはしっかり捉えていたのです。

◇

1884年に横浜海岸教会の信徒であった若者たちが横浜YMCAを設立したわけですが、そのわずか12年前、まだキリスト教禁止令が出ていた中で命をかけてもこのお方を信じることの喜びを知った人びとがいたからこそ、それに続いて起こった出来事だとも言えるでしょう。

世界YMCAが1998年に出した「チャレンジ21」の中に、**「YMCAはイエス・キリストのもとに立ち」「イエス・キリストの福音を分ちあい」「貧しい人びと、奪い取られた人びと、追い立てられた人びと、また人種的・民族的少数者ゆえに抑圧のもとにある人びとと連帯し、行動する」**とあります。クリスマスはキリストの救いを知り、どんな暗い世であっても喜び祝え、そして立ち上がる力を与えられる恵みの時なのです。

ホドス

10月の末、四谷で「フィリピン日系人リーガルサポートセンター」の報告会に初めて参加しました。会場全面の「私たちを日本人と認めてください」の垂れ幕は、私と同世代のフィリピン日系人の方たちの願いです▼戦前フィリピンには、3万人の日本人がいたそうです。それが第二次大戦、日米開戦によって日本人は強制送還、その日本人の父親との間を引き裂かれて、フィリピンに残された母親と子どもたちの厳しい苦しみの体験を聞きました。差別や生活苦の中で戦後を過ごした残留孤児の戦後75年間を思うと心穏やかではありません。同世代の私の戦後の貧さも相当なものでしたが、国籍で苦しんではいません▼フィリピンには今も日本国籍を取れない1069人の無国籍の日本人がいて、長年放置されていることに戦争の責任と不正義を思います▼日本の戦争責任や和解を課題にして、私は1971年から72年にフィリピンの神学校で学びました。それなのに、ある学生の自分の従弟は日本人だと、声をひそめた打ち明け話にけげんな気持ちにこそなれ、当時私はこうした残留日本人のことは全く無知でした▼今、私にはクリスマスの「マリアの賛歌」が心に浮かびます。イエスの誕生を夫ヨセフでなく妻マリアが、高らかにわが子の誕生を喜び、そして社会で苦しむ人への正義の実現を歌います。フィリピンで生まれた子、今は老いた残留孤児の国籍獲得の願いにつながります。

（準）

YMCA NETWORK NEWS

三浦 市民の健康守る講座や体験実施

10月27日に「みうら市民健康大学オープンキャンパス」（主催 みうら市民健康大学オープンキャンパス実行委員会・協賛 金沢八景ワイズメンズクラブ）が三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにて開催された。健康や医療、介護予防について専門家たちがイベントや体験、相談などを行った。

横浜YMCAでは、運動による認知症予防のための「コグニサイズ」を横須賀YMCAが中心となって実施した。参加者たちは数を数えながら体を動かすことなどにチャレンジした。また、「笑い」が心や体に良いということは医学的にも実証されている。今年も古今亭菊龍師匠による「落語独演会」や「健康体操教室」「マジックショー」なども開催された。参加者たちは自分の健康を多様な側面から考え、不安なことを相談できた機会となった。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
16 平和と公正をすべての人に

各地で共に集いクリスマスを祝う

キャロリングや街頭募金も各YMCAで開催

県内のYMCAでは、イエス・キリストの降誕を多くの人とともに祝おうと市民クリスマスを各地域のキリスト教会などと開催している。

横須賀市内にあるキリスト教会や団体、学校が協力して1986年から毎年開催している「横須賀ファミリークリスマス」は今年で33回目を迎え、12月7日（土）午後3時20分から5時20分に横須賀学院チャペルにて開催される。第1部の横須賀学院の生徒によるハンドベルクワイア、安河内アキラ牧師（特別養護老人ホームシャローム施設長）によるクリスマスメッセージ、「ユーオーディア・アンサンブル」によるクリスマスコンサートなどが行われる。

△地域の多くの方とともに祝う横須賀ファミリークリスマス（2018年）

同日午後2時から4時30分には大和市内の教会が主催となり「やまと市民ファミリークリスマス」がカンバーランド長老キリスト教会高座教会で開かれる。川浦弥生牧師（日本キリスト教団林間つきみ野教会）によるクリスマスメッセージ、近隣団体による賛美、交流会などが行われる。

14日（土）には、今年で47回目を迎える「藤沢市民クリスマス」が、藤沢市内キリスト教連絡会主催により午後4時からカトリック藤沢教会にて行われる。「クリスマス、そのおとずれはすべての人に」をテーマに第一部ではクリスマスの祈り、第2部ではアンサンブルシャロームによるクリスマスコンサートとシオン人形劇団による「森のなかまのクリスマス」が上演され、参加者の交わりの時がもたれる。

鎌倉市民クリスマス実行委員会の主催により同日午後1時から第39回「かまくら市民クリスマス」は、日本聖公会鎌倉聖ミカエル教会で「クリスマスの出会い」をテーマに開催されキャロリング、キッズプログラムも行われる。

同日、午後4時30分からは、戸塚区内の教会や団体による実行委員会主催の「とつか合同クリスマス」が湘南とつかYMCAで行われる。子どもたちによるページェントやゴスペルコンサートが行われる（いずれも事務局YMCA）。

18日（水）には、泉区民クリスマス（同実行委員会主催）が2時30分から泉区民文化センターにて開催される。このほか各YMCAや保育園でもクリスマス会が行われ、台風15号・19号の被災地支援募金などを呼びかける。（入場無料）。

Topics

台風15・19号豪雨支援活動
福島・長野・千葉・川崎を中心に展開

台風15・19号およびその後の豪雨による被災地に横浜YMCAは、10月から現地の支援活動や今後の支援活動を考えるための視察を行ってきた。

11月7日には、日本キリスト教団川崎戸手教会にてYMCA健康福祉専門学校介護福祉科の学生と教員18人が1階の天井をはがすことや、不要物の移動を行った。参加した介護福祉科2年生の渡邊巧さんは「川崎以外でも支援活動に参加したい。周りの人にも参加を呼び掛けたい」と話した。

11月には、聖光学院の生徒約80人を長野県に横浜YMCAのコーディネートのもと派遣し支援活動を行った。福島県いわき市で被災した保育園・幼稚園では、床上浸水して絵本や遊具などを失った保育園に希望が少しでも持てるようにと寄附された絵本を届けた。このほか横浜YMCAの保育園を中心に「絵本を届けよう」と11月30日まで呼びかけ、絵本を集め贈ることとしている。

▲川崎戸手教会の1階の天井はがしを行った学生と教員

今月の「平和の川柳」

体操で　ひよりの願い　世の平和
ペンネーム ひよりちゃんさん（横浜中央YMCA 体操クラス）

手で握る　武器ではなくて　相手の手
ペンネーム　月日備人さん（一般）

介護職の魅力伝えた留学生
「介護フェア」でベトナムの介護語る

▲介護の仕事の魅力を学生の視点から伝えたYMCA健康福祉専門学校学生

2035年には、約79万人の介護人材が不足する（経済産業省）といわれている中、介護の仕事の魅力を伝えようと「介護フェアinかながわ」（神奈川県主催）が11月2日に新都市ホール（横浜市）において開催され多くの入場者があった。

フェアでは、優れた事業所の表彰やかながわベスト介護セレクト20や感動的なエピソードなどの表彰があった。また、若手トークセッションでは、タレントの新田恵利さんが母の介護体験を語ったほか、YMCA健康福祉専門学校介護福祉科1年生ドティトゥアンさん、グェンティタムホンさんが他校の学生や現職の介護職員らと登壇し、日本とベトナムの介護の違いや日本語での授業を受ける大変さなどを語った。

YMCA健康福祉専門学校は1984年に開校し、卒業生も多数社会に送り出している。教員の内田智美さんは「若い人の目線で介護職のイメージを伝える機会となりました。留学生の話は自国と日本の比較もインパクトがありました。今後も介護人材育成に力を注いでいきます」と語った。

♪子育てランド♪ 赤ちゃんとの触れ合い

赤ちゃんの寝顔をじっと見てみると口元がフッとゆるんで、笑顔のような表情を見せることがあります。この笑顔（新生児微笑）は、生理的なもので、楽しかったり嬉しかったりして笑っているものではありません。

おっぱいをあげる時に、赤ちゃんの顔を見ていると、赤ちゃんもじっとお母さんを見つめてくれることがあります。この時の赤ちゃんの顔との距離は20センチから30センチです。この距離は、生まれたばかりの赤ちゃんがもっともよく物が見える距離です。お母さんは赤ちゃんに「いっぱい飲んでね」「おいしい？」と声をかけ、赤ちゃんはその瞬間、おっぱいを吸うのをやめ、お母さんの声を聞いているような感じがみられます。これがお母さんと赤ちゃんとのコミュニケーションのはじまりです。

生まれたばかりの赤ちゃんには、原始反射という不思議な力があります。原始反射は、生後2カ月程で消え始めます。それまでにたくさん赤ちゃんと触れ合う機会を作ってみてはいかがでしょうか。

（金沢八景YMCA保育園
主任　深田博久）

横須賀 市民と歩んだ20年共に祝う

横須賀市立市民活動サポートセンター（指定管理者横浜YMCA）が設立20周年を迎え、11月3日に感謝祭が行われ、約120人が参加し振り返りとこれからを考える時を持った。

同センターは、1999年11月に開設、2001年からはNPO法人YMCAコミュニティサポートが運営を担当している。第一部では、岩堀達也氏（市民活動サポートセンター運営懇話会座長）がこれまでの運営サポートへの感謝のあいさつを述べた。「サポートセンター20年を振り返る」をテーマに、パネルディスカッションも行われた。交流会で沼崎真奈美館長が感謝の言葉を述べた。

共に生きる世界を目指し 各地でバザー・YMCA祭

「笑顔につながる小さな一歩」をテーマに開催

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

「笑顔につながる小さな一歩」をテーマに「2019年度横浜YMCA国際・地域協力募金」のキャンペーンが、11月1日から神奈川県内のYMCAで始まった。11月2日に鎌倉、3日に横浜北、湘南とつか、金沢八景のYMCA、YMCAとつか保育園、YMCAとつか乳児保育園、金沢八景YMCA保育園、YMCAたかつ保育園にてバザーやオープンハウスが開催され、その後も神奈川県内のYMCAや保育園にてバザーが行われ多くの来場者でにぎわった。

このうち鎌倉YMCAでは、SDGsの取り組みとして、環境に配慮した木材の食器として「和器」を利用した。地域の方や諸団体との「コラボブース」として、ハンドメイドのアロマ商品や災害対策として保存食の販売を行った。元リーダーも訪れにぎわった。

湘南とつかYMCA・YMCAと乳児保育園合同の「YMCAい～とつか祭」は、チャリティーバザーや学童クラブによるゲームコーナのほか、新体操やチアダンス、ロックソーラン、舞岡高等学校によるウォーターボーイズなどの発表に大きな拍手が贈られた。環境への配慮の意識を高めようと公益財団法人かながわ海岸美化財団の協力により海岸ごみの様子の展示やリーダー会によるごみの解説を行った。食品のトレーはプラスチックから紙製に変え環境を考える機会となった。各YMCAのバザーの売り上げは、国際・地域協力募金に用いられる。

▲「和器」を利用した鎌倉YMCA

▲地域の商店会などと協働し多くの人でにぎわった「YMCAい～とつか祭」

保育園開設から30周年 チャリティーファミリーコンサート開催

神奈川県内には現在、横浜YMCAの保育園が14園あるが、1989年にYMCAあつぎ保育園ホサナが開園してから今年で30周年を迎えた。

10月27日には「横浜YMCA保育園30周年ファミリーコンサート」を横浜市西公会堂において開催した。最初に田口努横浜YMCA総主事が子どもたちによびかけながらあいさつを行った。オープニングでは、東日本大震災支援活動を通して保育園と交流のある仙台のまつり宝山が「すずめ踊り」を披露した。

▲壇上に上がった子どもたちと会場の保護者も演奏に合わせ踊りワンチームに

ファミリーコンサートでは、YMCAのオリジナルソング『ココロック！』『YMCA体操』を作曲した中川ひろたかさん（歌と話）、『ドラえもん』の主題歌を歌う山野さと子さん（歌）、『おかあさんといっしょ』などの番組で編曲している本田洋一郎さん（ピアノ）によるコンサートに、600人の子どもや保護者は楽しく参加した。参加費は東日本大震災復興支援募金に用いられる。

平和を祈るYM・YW合同祈祷週

世界のYMCA・YWCAでは、11月の第2週目の1週間を合同祈祷週と定めている。今年のテーマは「ジェンダー平等にむけて、若者が権力構造を変革する」として平和への祈りを共にした。

11月9日には横浜YMCA・YWCA合同祈祷礼拝を横浜中央YMCAで行った。小泉麻子牧師（日本キリスト教団大和教会）から「娘よ、おきなさい」をテーマにメッセージがあった。親睦の会ではYWCA、YMCAの近況を報告し合い交流を深めた。

このほか、14日に平塚YWCA、21日に鎌倉恩寵教会を会場に開催され、地域の人と平和への祈りを共にした。

すまセンが弁護士会人権賞受賞

日本に住む外国人のくらしをサポートしようと、特定非営利活動法人かながわ外国人すまいサポートセンター（横浜中央YMCA2階）は、第24回神奈川県弁護士会人権賞を受賞した。

行政機関や国際交流協会、不動産業界団体などと連携し、在日外国人の居住支援と生活相談に多言語で対応している。ボランティアスタッフを中心に、多文化共生の社会作りに貢献し、生活困窮者自立支援にも取り組んでいることが評価された。11月2日に横浜開港記念会館にて表彰式が行われ裹安（ペイ・アン）理事長（横浜中央YMCA運営委員）があいさつを述べた。

こもれび 思いをこめて

総主事 田口　努

「愛が生まれる日」
クリスマスは、今日で終わるわけではありません。
わたしたちの心に愛が生まれ
それが笑顔や
思いやりとなって
この地上に姿を現すなら
毎日がクリスマスなのです。
愛が生まれる日
それがクリスマスなのです。
（片柳弘史神父）

過去に例を見ない記録的な災害が続いた2019年もあわただしくクリスマスを迎えようとしている。床上まで浸水した家では、まだ復興に至らず寒い冬空の中、2階だけの生活や、避難先でクリスマスを迎える方が多い。

横浜YMCAも長野県や福島県いわき市にボランティアを派遣し、微力ながら復興支援の活動を行っている。

いわき市の天井まで浸水した保育園を訪ねたが、床や天井まで泥水に浸かり、床は膨らみ、天井裏の断熱材は、水をたっぷり含み二度と使えないことが分かった。別の場所を借りて被災から一カ月後に仮園舎で再開した。園は1年から2年後に建て直すと聞いた。絵本や教材もすべて水没で廃棄。

わずかに残った遊具の洗浄、消毒を必死で行う保育士から疲れがにじみ出ていた。保育士の家も被災しているという。その姿を見て、横浜YMCAの保育事業では、絵本を贈る運動をはじめた。絵本を届けて本の整理や読み聞かせの活動を行い、被災保育園の保育士を少しでも休ませたいという思いからだ。

被災地を訪ね、見て、聞いて、私の想像力の無さを知る。この地域だけでも同様の保育園や幼稚園が4園あるという。

困難の中にいる子どもたちとそれを守り育てる人びとに一人でも笑顔が広がるよう絵本を贈る運動に、愛が生まれる思いがする。毎日がクリスマスとなるように。

FLASH NEWS

横浜YMCAはアジアの地域にあるYMCAと交流を図っている。10月26日から30日に台南YMCAにおいて水泳指導者向けの講習会が行われた。指導者は派遣の要請を受け、宮澤仁スタッフ（YMCA山手台センター健康教育部）を派遣し、水上安全の取り組みの紹介や安全と泳法理論の講義、水泳実技指導などを行った。

「ちがいがおりなす豊かな未来」をテーマに、いま、「協同」が創る2019全国集会in Kanagawa（同実行委員会主催）が11月29日、30日にかながわ県民ホールや神奈川大学横浜キャンパスなどで開催された。30日の分科会では、障がい者施設や就労支援などの取り組みを行うパネリストとともに、相馬良文スタッフ（横浜YMCAワークサポートセンター）が登壇し、就労支援の取り組みについて語った。障がいのある人とともに生きる社会をどのように創っていくことができるかについて参加者とともに考えた。

ワイズコーナー できることをできるだけ

ワイズ・ユースクラブ横浜ーY3

ワイズ・ユースクラブは、これまでの5月開催から初めて10月での開催となった富士山YMCAの感謝祭に参加しました。毎年、ワイズ・ユースクラブが活動している感謝祭ですが、活動として定着していると感じています。今後はさらに、富士山YMCAを盛り上げるために、何か新しい取り組みも考えたいと感じた会となりました。

静岡県の富士宮の地で富士山YMCAを今以上に認知度を上げるための取り組みも積極的に考えていきたいと感じました。

ワイズ・ユースクラブでは、今後も、富士山YMCAにおける活動を軸にして「自分たちができることを、できるだけ」をモットーに、活動をしていきたいと思います。

（Y3　会長　黒澤　伸一郎）

横浜中央YMCA ☎045(662)3721
横浜北YMCA ☎045(433)4321
藤沢YMCA ☎0466(26)1151
横須賀YMCA ☎046(834)5811
川崎YMCA ☎044(932)2031
厚木YMCA ☎046(244)4181
YMCA ACT ☎045(316)1881
鎌倉YMCA ☎0467(24)7859
YMCA山手台センター ☎045(813)1022
湘南とつかYMCA ☎045(864)4768
金沢八景YMCA ☎045(782)3003
YMCA東とつかセンター ☎045(392)3747
大和YMCAライフサポートセンター ☎046(264)3192
横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ ☎045(867)0090
横浜YMCAワークサポートセンターレザン ☎045(860)5252
YMCAあつぎ保育園ホサナ ☎046(222)8619
YMCA山手台保育園アルク ☎045(813)1022
YMCAとつか保育園 ☎045(870)3663
YMCAマナ保育園 ☎045(790)3588
YMCAとつか乳児保育園 ☎045(870)3235
YMCAつるみ保育園 ☎045(500)5030
YMCAかわさき保育園 ☎044(520)1825
YMCAいずみ保育園 ☎045(800)3010
YMCA東とつか保育園 ☎045(820)5588
YMCA東かながわ保育園 ☎045(440)3763
YMCAたかつ保育園 ☎044(281)7833
金沢八景YMCA保育園 ☎045(353)5130
YMCAオベリン保育園 ☎042(707)9974
大和YMCA保育園 ☎046(214)3192
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎0544(54)1151
三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎046(888)2100
鶴見中央YMCA ☎045(508)7800
YMCAライフサポートセンター鶴見 ☎045(506)0131
YMCAライフサポートセンター関内 ☎045(680)6680
本部事務局 ☎045(662)3721

INFOMATION

横浜YMCA

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日　時　12月20日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　「米軍基地について」
講　師　Paul Cowlesさん
参加費　会員1,200円、一般1,500円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

キリスト教理解

■聖書からの学び
日　時　12月 5日(木)午前10時30分～11時10分
会　場　湘南とつかYMCA　2 階教室
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
テーマ　「キリストの福音」
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　☎045(864)4990

■聖書を読んでみよう会
日　時　12月17日(火）午後 6 時30分～ 8 時
会　場　横浜中央YMCA 6 階教室
テーマ　「ルカによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA　☎045(641)5492

■聖書に聞く「新約聖書　イエスのたとえ話　その 2 」
日　時　1 月17日(金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「ぶどう園と農夫」
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

イベント

■第33回横須賀ファミリークリスマス
日　時　12月 7 日（土）午後 3 時20分開演、午後 3 時開場
会　場　横須賀学院　大チャペル（京急線横須賀中央駅下車 徒歩10分）
内　容　第 1 部 礼拝、ハンドベルクワイア（横須賀学院）第 2 部 ユーオーディア・アンサンブル クリスマスコンサート
入場料　無料
主　催　横須賀ファミリークリスマス実行委員会
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

■第22回やまと市民ファミリークリスマス
日　時　12月 7 日（土）午後 2 時～ 4 時30分
会　場　カンバーランド長老キリスト教会 高座教会
内　容　第 1 部 礼拝、第 2 部 近隣団体による賛美、第 3 部 交流会
入場料　無料
主　催　大和市内各キリスト教会・大和YMCA
問合せ　大和YMCA　☎046(214)3192

■第47回藤沢市民クリスマス
日　時　12月14日（土）午後 4 時
会　場　カトリック藤沢教会
内　容　第 1 部 礼拝、第 2 部 クリスマスコンサートと人形劇、第 3 部 愛餐会
入場料　無料
主　催　藤沢市内キリスト教連絡会
問合せ　藤沢YMCA　☎0466(26)1151
○午後 3 時から藤沢駅南口歩道橋でキャロリングを行います。

■第39回かまくら市民クリスマス
日　時　12月14日（土）午後 1 時
会　場　日本聖公会 鎌倉聖ミカエル教会
内　容　キャロリング、礼拝、キッズプログラム、交流会
入場料　無料
主　催　鎌倉市民クリスマス実行委員会
問合せ　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859
○各地の市民クリスマスは 2 面をご参照ください。詳細は各YMCAへ。

カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

■横浜中央YMCA　歌のハーモニー
日　時　12月10日、24日（火）午前10時～正午
対　象　一般、ウエルネス会員
会　場　横浜中央YMCA
参加費　一般1,000円、ウエルネス会員無料
申込み　横浜中央YMCA　☎045(661)0084

■北YMCA　うたごえひろば
日　時　12月10日（火）午後12時40分～ 2 時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA 3 階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA　☎045(433)4321

■湘南とつかYMCA　うたごえひろば
日　時　12月17日（火）午後 2 時～ 4 時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA 1 階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

■藤沢YMCA　うたごえひろば
日　時　12月20日（金）午後 1 時15分～ 3 時15分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　藤沢YMCA
参加費　500円
申込み　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

■厚木YMCA　うたごえひろば
日　時　12月24日（火）午後 2 時～ 3 時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA　☎046(222)8619

■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば
日　時　12月18日（水）午後 1 時30分～ 3 時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）2 階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ ☎045(510)3411

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
日　時　①12月11日（水）、②14日（土）、③24日（火）午前10時30分～11時30分
会　場　①横浜市麦田地域ケアプラザ
②③中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
対　象　横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜子育てサポートシステム中区支部事務局　☎045(663)0676

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
日　時　12月14日（土）午前10時～12時30分
内　容　入試説明会
申込み　☎045(641)5785

■YMCA健康福祉専門学校
日　時　12月14日（土）午前 9 時30分～12時30分
内　容　学校説明会・体験授業
申込み　☎046(223)1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校
日　時　12月21日（土）午後 2 時～ 4 時
内　容　学校説明会
申込み　☎045(864)4990

■YMCA国際ビジネス専門学校　観光ビジネス科
日　時　12月14日（土）、21日（土）午前10時～正午
内　容　オープンキャンパス・体験会
申込み　☎044(932)2015

※各校とも入試が始まっています。詳細は電話、HPにて各校へお問い合わせください

ボランティア情報

横浜YMCAでは12月下旬および 1 月に行われるウインタープログラムのボランティアリーダーを募集しています。子どもたちとさまざまなプログラムを通じて一緒に大きく成長しませんか？ 詳細は各YMCA、横浜YMCA HPよりお問い合わせください。

My Y Story 119

なんでも相談、心のよりどころ 愛あふれるYMCA保育園

YMCA東とつか保育園保護者　須崎　理江

私がYMCAと出会ったきっかけは、長女が2003年にYMCAあつぎ保育園ホサナに入園したことです。1歳になる直前で入園し、初めは泣いてすがりつく我が子を後ろ髪引かれる思いで預け、会社に向かう日々でした。

長女は入園して2カ月の間に肺炎で2度入院し、熱性けいれんを起こしました。私は仕事を早退や休むことが続きました。病院でも「お子さんがこんなに苦しんでいるのに、お母さんはまだ働くの？」と言われました。母親失格だと言われた気がして、病院を出たその足で保育園に退園の相談に行きました。園長先生から「今はお母さんも不安だしお子さんも大変よね。でも、もう少しがんばってみない？。私たちは全力でサポートするから。がんばるお母さんを見て、きっとがんばる子になるはずよ」と言われました。今まで一人で悩んでいたものが一気にあふれて、事務室で号泣してしまいました。他の先生方も「お母さん一人でがんばらないで、なんでも相談してね」と次々に声をかけてくれました。この日のことを思い出すと今でも胸がいっぱいになります。

私は、保育園は子どもを預けるところと思っていましたが、この日から私にとって何でも相談できる、心のよりどころになりました。その後も先生方に支えていただきながら、娘は無事にホサナを卒園しました。卒園後に横浜市に転居しましたが、ホサナで出会った保護者の交流は今も続き、子どもの成長を報告し合っています。

しばらくYMCAに関わりがありませんでしたが、ひと回り年齢の違う弟が誕生し、またYMCAにお世話になることになりました。娘の時のことを思い出しYMCAの保育園を希望しました。現在、息子は、YMCA東とつか保育園で先生方からたくさんの愛情をもらい、元気に通っています。娘の時と変わらず、YMCAの先生方は子どもにも、保護者にもあたたかく接してくれます。そして何よりも縁を感じたことは、娘の時に励ましてくださった副園長先生が、今は息子の保育園の園長先生だということです。これこそ、神さまが与えてくださった愛に違いないと思っています。

▲YMCAあつぎ保育園ホサナでの運動会で長女と（2004年10月）

▶デスクペン　震災や水害、貧困や争いなど国内や世界の各地域で困難な状況にある人に心を寄せて共にクリスマスを迎えたいと思います。今年も各地で市民クリスマスやYMCAクリスマス会が開かれます。ぜひ、お出かけください。（直）